

平成18年2月

Vol. 6

発行／名田島自治会連合会
編集／自治会総務部
印刷／嶺山口県農協印刷

田園

市リサイクルプラザを視察



地球に優しい環境

分別すれば資源

名田島自治会では、十一月十日、中部クリーンセンター、市リサイクルプラザ、神田一般廃棄物処分場、名田島集落排水施設の四施設の視察研修を行いました。貸し切りバス一



台。二十四名の参加を得て、好天のもと、家庭から出される「ごみ」の処分や再利用の状況などをつぶさに学ばせていただきました。
この研修は、昨年に引き続き、実施したもので、より多くの自治会の皆さんに施設を見学していただき、「ごみ」についての関心を高めてもらうことを目的としたものです。

発足して4年目

会長 大林基宏

早いもので名田島自治会が発足して四年目を迎えます。
十七年度の自治会活動は、十六年度の活動を踏襲しながら民意を吸い上げ各種団体の総意を尊重することを基本的に事業を行っております。

総務部会では、自主防災体制の確立、教育部会では、下校時に子ども達を見守る防犯体制の確立、土木部会では、環境美化や要望事項、民生部会では、環境美化や地産地消などに取り組んでおります。

皆様がたのご協力のもとに既に解決した案件、十八年度に実現する案件、その他繰り越し案件もありますが、要望事項が確実に実現するよう努めております。

本年は、新山口市、一市四町の合併元年。食育基本法も制定され、更に農業経営基盤強化促進法により農業経営形態の様変わりが求められているように認識しております。

今後とも自治会活動にご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

自主防災組織の骨子決まる

防災委員21人、本部12班

昨年の十二月二十一日、名田島地区自主防災会の会則案並びに細則案がまとまり、自主防災組織立ち上げ準備委員会の準備作業をほぼ終えました。昨年の五月二十八日に第一回目の会議を開催して、会議を重ねること、五回。その間、防災学習会や宇部市厚南校区自主防災会及び藤山校区自主防災会への先進地視察を行い、名田島の地域性も踏まえて検討しました。

防災会の発足 今年5月の予定

地域防災力活性化組織準備委員会という名称を掲げ、昨年五月から自主防災組織の立ち上げ会議を開催してきました

た。組織立ち上げの自治会連合会担当部会は、総務部会。この組織立ち上げ準備委員会の委員は、集落代表委員や社会福祉協議会長・民生委員協議会長・消防分団長・同副分団長・小学校長・幼稚園長・駐在所駐在官・防犯対策協議会長・老人クラブ会長・自治会役員など三十人。



藤山校区での視察研修 (昨年8月4日)

初会合以来、約八ヶ月。集落からの意向・要望などを集約し、自主防災組織の立ち上げ作業を進めました。

新組織の発足は、五月の予定です。



防災学習会 (昨年6月3日)

平常時の活動は 防災委員を中心に

新組織の名称は、名田島地区自主防災会。

事務局は、名田島出張所に置きます。

自主防災会の組織、会則、細則もまとまりました。詳しくは、この田園第六号と同日配付の「防災会会則案」に全文を掲載しております。

名田島地区自主防災会の目的は、自主的に、かつ、組織的に災害の防止と被害の軽減を図ることです。

防災会の組織は、防災委員二十一人で構成する防災委員

防災の班活動 地域ぐるみで

災害対策本部十二班は、次の班で、班会議には十三集落の自主防災組織の班長等にも出席してもらいます。

◆情報班 ◆連携調整班
◆消火班 ◆救出・救護班
◆避難誘導班◆物資配分班
◆給食・給水、炊き出し班
◆清掃班 ◆衛生班
◆安全点検班 ◆防犯・巡回班 ◆応急修繕班

会と自治会連合会委員等で構成する災害対策本部十二班とで、平常時と災害時とで、役割を分担し、また、支援しあう組織としています。

防災委員は、防災訓練など平常時の防災活動が主となります。



堆積土の除去

ありがとう

副会長 三輪正明

つらいことがおけると感謝するんです。これで、また、強くなれると、ありがとう。悲しいことがおけると感謝するんです。これで人の悲しみがよく解ると、ありがとう。ピンチになると感謝するんです。これでもっとたくましくなれると、ありがとう。つらいことも悲しいこともピンチも乗り越えて生きるこれが人生だといきかせるのです。

自分自身にそうすると、ふつと楽になり、楽しくなって、人生がとても光り輝いてくるんです。

行きつ、戻りつ、このさき、私どもを支援くださったあなたさまに、心より感謝の念で一杯でございます。

この新年をスタートラインにして、これからも人生のドラマを皆様と共に演じて参りたいと思います。

.....

ますます光り輝く人生を、「ありがとう」の心とともに。

視察研修アンケート

- ◆中部クリーンセンター ごみの量の多さと処理経費には改めて再認識させられた。少しでも減少させる努力をしないといけないと感じた。
- ◆山口市リサイクルプラザ 多くの物を扱っておられるのにびっくりした。有効利用の大切さを認識させられた。
- ◆神田一般不燃物処分場 数年間で使用が終わる。その後は大丈夫なのか。



神田不燃物処分場

- ◆名田島集落排水施設 名田島に居住して見ることができなかった。今回、見学できて良かった。
- ◆大量生産、大量消費の結果が大量廃棄物か。「うーむ…」。香山公園での弁当は美味しかった。
- ◆子供や孫の世代、地球の環境が安全に保たれますよう強く感じました。

自主防災会の運営費には、自主防災会会費のほか、自治会連合会等からの補助金や寄付金等を予定しています。当面は、やれることから、着手し、自治会や各種団体等が所有している物品等を借用していくこととしています。

自主防災会に会計一名、監事二名の役員を置きます。



厚南校区を視察

徹底した情報網 集落組織と地区本部

自主防災会災害対策本部の情報班は、十三集落の集落内情報網を活用して防災情報を地区内の全世帯に周知します。集落内情報網が定められた

ときは、集落代表者はすみやかに地区自主防災会の会長にその内容を書面により届け出てもらうこととしています。その届け出を受け、自主防災会地区本部では、地区全体の防災情報連絡網一覧表を作成します。

集落の代表者には、集落内自主防災組織の班名・班員名も自主防災会の会長に届け出てもらうこととしています。

設立総会 15人の準備委員

本年五月の自主防災会の設立に向け、組織立ち上げ準備委員会から次の事項について提案をしています。

- ① 十五人の委員による設立総会準備委員会の結成
- ② 防災計画案の策定
- ③ 防災委員の担当所属先について、適材適所の配置
- ④ 先進地視察や研修の実施
- ⑤ 備品台帳、防災マップ、災害時要援護者名簿、防災資材の整備拡充
- ⑥ 連絡網の整備、緊急出動者名簿の作成
- ⑦ 実際の行動につながる自主防災会活動を基本に据えること。
- ⑧ 市総務課危機管理室や消防本部、先進地等から助言を求め、手戻りが余りないようにつに配慮すること。
- ⑨ 情報の一元化を図ること。

年間会費は 一世帯 200円

名田島地区自主防災会の会費を自治会費以外に、年額、一世帯、二百円としました。

会費は、自主防災会の事務用品や防災研修会等の講師謝礼、防災資機材の購入に充てる予定です。



捨てないで!

身近に感じる分別 副会長 松永君子

最近の気候の変化は、この地球に何かが起きつつあるのではと、地球温暖化もその一つだと思い、一抹の不安を感じます。

身近な環境問題や資源の有効活用のために、今年度も自治会で研修を実施し、多くの方に参加して頂きました。

最初に中部クリーンセンターでごみの燃焼などの見学をし、リサイクルプラザでは多量のプラスチック容器の分別がきれいになされ、荷造りから次の行程に廻ると、見事な梱包に驚かされました。参加された皆さんも驚きの眼差しでした。

次に神田一般不燃物処分場です。そこは、昨年の研修時より想像以上に多量のガレキの山でした。

私たちの生活から切り離せない「ごみ」問題は、今後が心配になります。

これからも、自治会で、身近な資源の有効活用のため、分別収集の研修を続けて欲しいと思います。

部会の活動は今、 防犯対策、地産地消など

総務部会

自主防災組織の立ち上げ準備をほぼ終え、ごみ処理施設

への視察を企画実施し、会報

(第五号・六号) や不定期刊

行物「災害時に備えて」、「防

災会則案」を発行しました。

民生部会

昨年七月三日、第一回地産地消研修会を開催し、地産地消における地域の実態、住民意識の調査結果、山口市行政の取り組みを勉強しました。

一月二十二日には、第二回研修会を開催し、農産物の流通や学校給食の仕組み、食育についての知識を深めました。第三回研修会は、二月下旬



地産地消研修会

教育部会

子どもを地区ぐるみで守るため、青少年健全育成地区民会議と自治会教育部会とで、

下校時見守りボランティアを募集しています。また、少人数しか応募がありません。協力いただける方は、公民館までご連絡ください。子どもの安全安心のため、小学校、PTAと協力して役割分担をしながら、できることから実施していきます。



公民館で料理

土木部会

鴻上中学校の通学路へ除草剤を散布し、不法投棄禁止の看板を榎野川沿いの堤防と鴻上中学校近くの川沿いの市道脇の二カ所に設置しました。

また、バイパス下の市道の堆積土の除去、草刈りを民生部会役員、協力員OB会、有志の協力を得て行いました。そのほか、要望案件の内、向山中の道は、十八年度から工事にかかるとの回答を得ました。



市道の清掃奉仕

編集後記

▼昨年の十二月は、日本を襲った近年にない寒波で国内が大雪となり、名田島地区も田畑が真っ白になり寒い日が続きました。▼正月は、元旦から好天に恵まれ久しぶりに日の出を拝むことができました。今年も今年、丙戌の年は物事が盛んな年。名田島地区の発展を願っています。▼戦後農政の大転換が十九年度から実施されるため、この一年は、この準備の年となります。その中身は農地の担い手への集約です。集落内のコミュニティ(共同)が今以上に弱体化していくのではないかと危惧します。▼今年スタートしようとしている「自主防災組織」

「自主防災組織」は少子高齢化社会の中で安全安心に暮らせる地域社会の構築、「村、ルネッサンス(再生)」としたいものです。▼自主防災組織の設立趣旨は、災害による被害を最小限に食い止めるため、集落内の連絡網、集落防災組織の設置、自治会本部組織により自主的に、かつ、組織的に活動していくものです。